それでも、私がデニムを穿く理由

HERS

3 [ハーズ]
MARCH 2019

もう一度、デニム。

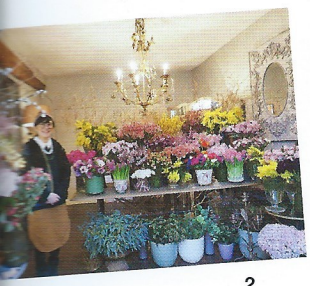
遊ぶなら「春バッグ」

香りで広がる京都の楽しみ

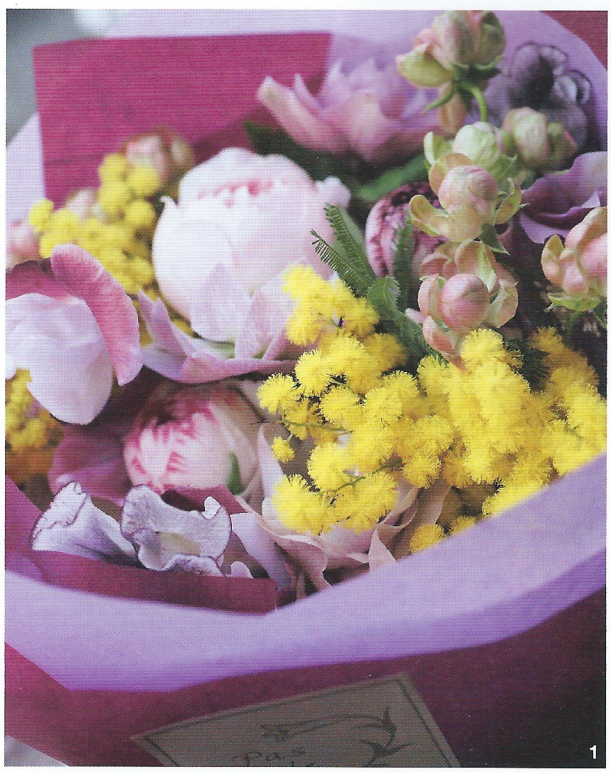
Interview
ジェーン・バーキン

大人を甘やかすスイーツ時間

PARIS パリ


2

3

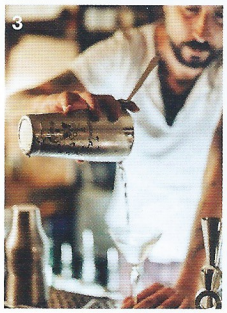

1

Pas de deux
パ・ドゥ・ドゥ

12 rue Jean Ferrandi 75006 Paris ☎+33(0)1 71 97 66 94 ㊡10:00～20:00(月曜は14:00から) ㊡日曜 https://pasdedeux.business.site

1. 南から届く香り高いミモザはパリに真っ先に新しい季節を告げる花。それを主役にスイートピー、ワックスフラワー、ラナンキュラスなど春の彩りを束ねました。**2.** 東京・表参道に店を構える花装飾の第一人者、田島由紀子さん母娘が2017年に開いたパリ店。娘のエリカさんは名店「エリック・ショヴァン」で活躍した経験を生かし、パリのエスプリたっぷりの花選びとアレンジメントをしています。**3.** デパート「ボンマルシェ」から歩いてすぐ。界隈の美意識の高い住人たちが常連になり、口コミでファンが増えています。

1


3

2

Herbarium
エルバリウム

Hotel National des Arts et Métiers 243 rue Saint Martin 75003 Paris ☎+33(0)1 80 97 22 80 ㊡18:00～翌2:00 https://www.hotelnational.paris/en/page/restaurant-arts-et-metiers.13.html

1. パリで確実に定着しつつあるのがカクテル人気。ホテルのバーや勢いのあるレストランには必ずオリジナルカクテルがあります。なかでもブティックホテル「オテル・ナショナル・デザール・エ・メティエ」のバー「エルバリウム」では、独自に調合した食用香水をミックスしたカクテルが楽しめます。**2.** カウンターには調香師の仕事場を思わせる茶色の小瓶がずらり。「湖の森」「スパークリングローズベルベット」など名前のついた香りをまず嗅いでからカクテルを選ぶことができます。**3.** 新コンセプトを創ったバーマン、オスカー・カグリアニさんは、香水ブランド「アニック・グタール」で調香の経験を積んだ人物です。写真©Jérôme Galland

1

街の魅力を引き立てるさまざまなシーンの香り

グレートーンの冬の後に訪れる春。パリっ子たちはフローリストの店頭に並ぶミモザの色と香りで、まずそれを感じます。今いちばん人気のバー、そして新しくお目見えしたブティックでも、アーティスティックな香りがキーワードになっています。

Boutique de la cour de Marbre Château de Versailles
ブティック・ドゥ・ラ・クール・ドゥ・マーブル・シャトー・ドゥ・ヴェルサイユ

Château de Versailles Place d'Armes 78000 Versailles ☎+33(0)1 30 97 70 95 ㊡9:30～17:00(11月～4月)、9:30～18:00(5月～10月) ㊡月曜 https://www.boutique-chateauversailles.fr/fr/413-la-boutique-cour-de-marbre

1. ヴェルサイユ宮殿内のブティックが大規模なリニューアルを経て昨年11月にオープン。182㎡の広いスペースに展開する"L'art de vivre(アール・ドゥ・ヴィーヴル)"、生きる美術を体現する品々の中でも香りものは欠かせないアイテム。「鏡の間」「王のチャペル」「王妃の私室」など宮殿各所をイメージさせる香りのディフューザーシリーズ(100mℓ €42)も登場しました。**2.** 香りのろうそくシリーズもまたフランスのブランド「Made in Paris」によるもの。吹きガラスの手法で製作された器にもオリジナリティがあります。**3.** ショップの内装はシックなパリのアパルトマンを思わせる配色で統一されています。

2

3

©Didier Plowy